

乗務員教育記録 (30年度)

営業所名	西北交通(株) 北上本所 営業所	運行管理者	非公開
実施年月日・時間	2月20日 13時00分～15時00分		
実施場所	西北交通(株) 北上本所 営業所	指導講師	

【一般的な指導項目】

- ① 事業用自動車を運転する場合の心構え
- ② 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本事項
- ③ 事業用自動車の構造上の特性
- ④ 乗車中(運行中)の旅客の安全を確保(シートベルトの着用等)するために留意すべき事項
- ⑤ 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥ 主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧ 運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨ 交通事故に関わる運転者の生理的(睡眠不足等)及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩ 健康管理の重要性
- ⑪ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬ ⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を社内で共有する
- ⑭ 非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

【実施した具体的な指導内容】

※安全性の向上を図るため装置を備える。  
貸し切りバスの適切な運転方法

1. 安全性の向上を図るための装置に係る事故事例
2. 運転支援装置の性能及び留意点

(1) ブレーキの制御を行う装置

- ① 衝突被害軽減ブレーキ(前方障害物衝突被害軽減制御装置)
- ② アダプティブ・クルーズ・コントロール/ACC(定速走行・車間距離制御装置)

(2) ハンドル操作の警告や支援を行う装置

- ① 小ふき注意喚起装置
- ② 車線逸脱装置
- ③ 車線維持支援装置

(3) 車体維持を支援する装置 ○車体安定制御装置

2月安全目標 → ゆとり運転でスリップ事故を防止しよう

安全運転スローガン → 雪道の事故防止、○雪道は慎重操作でスリップ防止

※重点推進事項

○早朝のスリップ防止、○マシ-通勤経路の点検、○車両の音消持の実施

※ ⑫ ⑬ のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を社内で共有する。

非公開

